

平成30年度 倫敦日本人学校だより最終号3月8日

皆様のご協力に感謝して

校長

暖かい日差しに春の訪れを感じる頃となりました。いよいよ別れと旅立ちのときが近づいてまいりました。本校は、13日の卒業式、15日の修了式をもって平成30年度の全教育課程を終えることとなります。

大きな事件・事故もなく、子どもたち一人ひとりが健康で充実した学校生活を送ることができましたのも、保護者の皆様や関係の皆様方のご理解とご協力の賜だと深く感謝申し上げます。

4月に350名でスタートした児童生徒数は、現在345名です。転出入が多く、クラスの仲間は常に変化しますが、日本をはじめ世界各地から集まった子どもたちは、ここロンドン日本人学校で出会い、学校生活を通して、互いに学び、励まし、切磋琢磨し合う中で大きく成長しました。日々の授業で、「わかった」「できた」を実感したときの喜びと感動、そして、途中何度も投げ出しそうになりながらもまわりの人に支えられながらやり遂げ、その結果味わうことができた各行事での充実感や達成感は、一生の財産、宝物になることでしょう。ぜひ、お子様のこの一年間の頑張りを大いに認め、成長を祝ってほしいと思います。子どもは地域の自然や文化、人の愛情で育ちます。「自分は家族や先生たちから愛されている、守られている。」という安心感や安定感が子どもたちの意欲や自信の源です。家族や友達との絆が、何事にも前向きにチャレンジしようとするエネルギーになります。本校の子どもたちが自分に自信をもって友達と学び、互いに切磋琢磨し合う姿は本当に素晴らしいものです。また、そういう学校の風土が本校の良き伝統となっています。

私たち教職員も子どもたちの成長を通して一年間を振り返り、成果と課題を明確にし、次年度の指導・支援の工夫と改善に努めてまいります。

保護者の皆様や関係の皆様方におかれましては、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

一年間ありがとうございました。

温かいメッセージをいただいております



小学部6年生・中学部3年生の卒業式に際し、帰国された先生方をはじめ、多くの皆様方からお祝いのメッセージをいただいております。卒業式当日、講堂に掲示いたします。ぜひ、ご覧ください。

子どもたちの「心のふるさと」に

育ったところ 必ずしも家庭ではない
心を育てられたところが 家庭である
学んだところ 必ずしも母校ではない
よき師よき友にめぐり会えたところが
学校である
生まれたところ 必ずしも故郷ではない
心をとどめたところが 故郷である

この詩の作者は不明ですが、人間が最後に行き着くところは、真に心を育ててくれたところだと教えています。家庭と学校の連携が叫ばれて久しくなります。身近な大人が、それぞれの立場で子育ての責任を相応に分担し、優しくも厳しく愛情をそそぐことで、子どもの心に、家庭や学校もよき「ふるさと」として宿ることになるでしょう。

子どもたちに、よき「ふるさと」を提供するのは大人の責務です。家族や仲間、故郷を愛し、ロンドン日本人学校で学んだことを誇りに思いながら、日本そして世界各地で活躍する子どもたちに成長してくれることを期待しています。そして、これからも学校と家庭が心をひとつに連携を深めていくことを願っています。

ロンドン日本人学校校歌

- 1 青い高い大空 テムズ河畔の
ビッグベン ビッグベン
心豊かに 健やかに 自ら学べと 鳴り渡る
- 2 薫る伸びる緑の リージェントパークに
弾む声 育つ友愛 さわやかに
実りの明日 目指しつつ
- 3 清く強く明るく 我らの誇り 学舎の
チャペルの集い 和やかに 英知の光
いつまでも
- 4 歴史語るロンドンの 赤いレンガの 学舎に
はずむ語らい 光る汗 希望の翼 たくましく
- 5 木もれ日 やさしい
菩提樹に バラの香りの
風わたる イーリングの道
踏みしめて
世界を結ぶ かけ橋に



★ 教職員についてのお知らせ

3月をもって事務局職員の永田京子、英会話講師の西藤萌子が退職しますので、お知らせします。

～ 卒業に向けて～

一期一会を大切に

小6 A担任

卒業おめでとうございます。6年生は、運動会、文化祭等の大きな行事で存分に力を発揮してくれました。本番での集中力は素晴らしかったです。また、修学旅行でみんなと一緒にスノードン山頂から見た絶景は今でも忘れられません。この6年生は「何かもっているな」と感じたのは、あの時からです。4月の1年生のお世話から始まり、フレンチ校との現地校交流、大英博物館への校外学習、おうちの人を招いた感謝の集いとたくさんの人たちとの交流もありました。みなさんがここまで成長したのは自分の力だけではなく、たくさんの人たちに支えられたのだということを忘れないでください。これからも「一期一会」、人との出会いを大切に、夢に向かって頑張ってください。いつまでも応援しています。

Challenge

小6 B担任

いよいよ卒業を迎える時。思い返すと、この1年間みんなでいろいろなことにチャレンジしてきましたね。1年生のお世話、運動会、文化祭…。みんなで乗り越えられたのは、何よりも周りにいてくれた仲間の力が大きいのではないかと思います。お互いのことを思いやり、励まし合いながら、切磋琢磨し合ってきた仲間は、みなさんの宝物だと思います。これからは、それぞれ別々の道を歩むこととなりますが、どこにいても、みなさんはつながっています。これからも仲間とともに、新しいことにチャレンジし、自分達の可能性を広げてほしいと思います。そして、新しい世界をたくましく切り拓いていってくれることを心から願っています。

どんなときも笑顔で

小6 副担任

小学校生活最後の1年間という貴重な時間をみんなと一緒に過ごすことができ、とても幸せでした。振り返ると、いろいろな思い出が溢れ出てきます。特に修学旅行でのスノードン山頂からの絶景をみんなで見ることができた「奇跡の瞬間」。みんなの弾けた笑顔は忘れられません。また、最高学年としてリーダーシップを発揮しながら取り組んだ様々な行事や活動を通して、仲間との「絆」が深まる度に輝きが増すみんなの笑顔は最高の宝物でした。卒業後は、さらにたくさんの新しい出会いが待っています。いつも、とびきりの笑顔で、新たに出会う仲間を大切に、その「絆」を丁寧に紡いでいってください。「人」と「人との絆」を大切にする、そんな人に成長していってくれることを願っています。

卒業おめでとうございます

中3 担任

ロンドン日本人学校を卒業する児童生徒の皆さん、保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとって、ロンドンでの生活は大変有意義で多くの経験をもたらしてくれたことと思います。4月から日本へ帰る児童生徒の皆さんはロンドンで培った経験を活かし新天地で活躍してくれることを期待しています。また、イギリスに残る児童生徒の皆さんは異国の地で生活できる利点を活かし、これまで以上に毎日を大切に、仲間を大切に多くの経験を重ね、大きく成長していってくれることを期待しています。卒業という別れがあれば、入学という出会いが皆さんを待っています。4月からの新しい出会いを大切にして、新しい友達をたくさん作ってください。

自分だけの人生を

中3 副担任

ご卒業おめでとうございます。これまで、たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。何より皆さんの素敵なお笑顔と優しさは、私にとっての宝物です。卒業していく皆さんに、詩の一節を贈ります。「巣立ち！ その意味を知っている鳥は 青い空にむかって 力いっぱい よろこびに鳴く きみらは きみだけの ぴかぴか光る人生を その手でつかめるのだ 二つとない きみだけの 重い歴史を きずいていけるのだから 固有名詞のついた人生よ 歴史よ おめでとう」（松永 伍一「巣立ち」より）

自分だけの大切な人生を、このロンドン日本人学校の仲間と過ごしたことを誇りに思って、自信をもって歩んで行ってください。先生は、皆さんのことをずっとずっと応援しています。

卒業に寄せて

中3 副担任

とうとうこの日が来てしまいました。思えば小3の頃からの長い付き合いになる学年です。メンバーはほとんど変わりましたが、いつになっても変わらないのは、ユニークで賑やか、そして優しいところです。

どんな素材を授業に持って行っても、一人ひとりの個性的なスパイスで絶妙な味付けとなり、いつも笑顔で教室を後にすることができました。我先に答えようと前のめりになって授業を受ける姿やテストを返されたときの反応、涙が出るほど笑ったことなど、いろいろな姿が思い出されます。

卒業証書を受け取る凛々しい姿は涙にかすんで見えないかもしれません。でも、最後は笑顔で送り出します。いつかまたロンドンに帰ってきてくれると信じて。